

藤棚新聞



第52号
2017年(平成29年)
2月20日
偶数月発行
フリーペーパー

井伊直弼と次郎法師(井伊直虎) ~280年の時間を超えて~



井伊直弼は西区に住んでいる人たちだけでなく、多くの人たちに知られ愛されています。一方で大河ドラマでは「おんな城主直虎」の放送が始まり、井伊家のつながりが改めて注目されています。

彼は1815年、第13代藩主・井伊直中の十四男として彦根城で生まれました。兄弟が多く庶子のため、養子の口もなく、父の死後17歳から32歳までの15年間を300俵の捨扶持の部屋住みとして過ごしました。この間、国学を学び埋木舎(うもれぎのや)と名付けた邸宅で世捨て人のように暮らし、熱心に茶道を学んで茶人として大成します。さらに和歌や鼓、禅、槍術、居合術を学び、あきらめずに精進し高い技量を身につけて、その風流に生きる姿から「チャカ

ポン(茶・歌・鼓)」とも呼ばれていました。

ところが1846年、第14代藩主で兄の直亮(なおあき)の世子であった井伊直元が死去したため、兄の養子という形で彦根藩の後継者になります。

ついで1850年、直亮の死去を受け家督を継いで第15代藩主となります。そして黒船がきた幕末期の江戸幕府にて大老を務めました。彼はもともと尊王攘夷派でしたが、アメリカとの交渉で国内が混乱するとして勅許を得ないまま日米修好通商条約に調印し、日本の開国近代化を断行しました。さらに、強権をもって吉田松陰ら国内の反対勢力(約100人)を粛清しました(安政の大獄)。しかしそれらの反発を受け、1860年に水戸藩士と薩摩藩士18名によって暗殺されました(桜田門外の変)。その後、幾多の経緯を経て掃部山に銅像として立っています。

《2面に続く》

気になるお店シリーズ 生そば「松鶴」

ニコニコ商店街にある創業90年の生そば「松鶴」。2年前のガチめん!(ガチでうまい横浜の麺類)にエントリーした「濱の河岸そば」は、たっぷりのそばに、桜えびとアオサの揚げ玉にネギとわさびを絡めて食べる風味豊かな一品です。

人気が高いのは、お好み天井とそばのセット(水曜日)、まぐろ丼とそばのセット(金曜日)など。いずれも700円と安価で、その日は早めに来てくださいとのこと。ほかにもそば豆腐や寒天よせ、そばクレープなどがあり、宴会(2000円より)でも楽しく盛り上がりながら食べられそうです。

営業時間: 11時30分~21時、定休日: 月曜日、宴会予約等: 231-7723



《1面続き》 一方で直弼の祖先に当たる女城主井伊直虎は、後年苦勞して元の許嫁の子である直政の後見役となります。しかし、最近になって京都の井伊美術館で新資料が見つかり、女性とされてきた直虎が男だという意見がでてきました。その意見というのは、正確には「井伊谷の女性領主『次郎法師』は確かに実在したが、尼の彼女が『次郎直虎』と名乗り、男のように花押(サイン)までしたか疑義がある」(読売新聞)というものです。

直弼は直虎から15代目に当たります。直虎は井伊谷(浜松市)の生まれで、直弼とはおよそ280年の差がありますが、掃部山の直弼の銅像に向き合うと直虎との間に不思議なつながりを感じます。彦根にもあるという直弼の像にもお会いしたいですね。



みんなでおり紙
楽しいね!

西区・子ども食堂紹介

子ども食堂を月に一度、開催しているグループを紹介します。

① にこにこ広場(浅間台自治会館・浅間町3丁目自治会館)

昨年2月から開設しており、地域の方々を中心に数十名で運営しています。開催は町内会の掲示板で告知され、毎回30名程度の参加者が集まります。食事の他、折り紙やトランプ、学校の勉強など、大人と子供の交流も盛んです(食事は17時から)。



問い合わせ: 松井さん 311-7200

② カフェ ターブルドート(りそな銀行隣)

昨年10月より、毎月第三水曜日の16時から子ども食堂を開いています。「子どもたちが幸せそうな表情で食べているのを見ると、こちらまでうれしくなります」と店長の竹田さん。緊張しないような雰囲気づくりを心がけており、中には常連になった中学生もいるとのこと。問い合わせ: 竹田さん 315-2504



レトロな銭湯「松島館」

戸部大通りに面した、戸部4丁目に松島館があります。今もって番台形式のレトロな銭湯として、小学生も学習の一環として訪れています。また、7月には幼稚園の年長さんが一時間の貸し切り銭湯として楽しく遊ぶ催しが、30年以上続いています。



西伊豆から見た富士山が描かれた大きなペンキ絵は、男女両側を一日で仕上げているようで、5年ぐらいで描き替えるそうです。建物は戦時中空襲で焼かれ、新潟等から資材を運んで建て直し、現在に至っています。その証拠に、杉の一枚板が天井にきれいに並べられています。

各家庭にお風呂が普及している昨今では、お客さんが減少し西区内の銭湯は36軒から5軒に減りました。そんな中、松島館では本牧ふ頭から出た廃材を燃料の薪として使用するなど、存続に工夫をしている様子が窺えます。

温度計が指す湯温は44度。湯上りに定番のコーヒー牛乳を飲めば、懐かしの味を思い出します。 定休日: 2、7、12、17、22、27日 問い合わせ: 231-7435

減らそう！ 食べ物の「もったいない」

横浜市では、年間約2万トンもの「手づかず食品」が捨てられているそうです。これは1人当たり約5kgにあたります。こういった家庭から排出される手づかず食品をなくすことで、家計の節約やゴミとして燃やすための費用削減、さらには資源の効果的利用につなげることができます。

食材を買いすぎてしまい使いきれなかったことはありませんか。冷蔵庫に保管しているのを忘れてしまうことを防ぎましょう。



横浜で実際に廃棄された手づかず食品の例

手づかずにそのまま食品が廃棄されている!!

横浜市資源循環局チラシより

ふじなちゃんのさんぽみち

～久保町天満宮～



2月上旬、久保町ニコニコ商店街からほど近いところにある、小さな天満宮に梅が咲いていました。冬の寒さの中、藤棚に春の足音が感じられます。



昔と今

愛された市電

50歳以上の方なら、藤棚の電停を走っていた市電の姿を覚えておられることでしょう。

藤棚には2つの系統の市電が走っていました。中央市場から横浜駅、藤棚を通り、磯子の八幡橋まで行く7系統と、六角橋から浅間下、洪福寺回りで藤棚から浦舟町へ行く9系統です。庶民の足として、地下鉄にはない地上平面の、高齢者でも乗りやすく環境に優しい乗り物でした。

1月末にリニューアルした滝頭の市電保存館では、当時の雄姿を見ることができます。「横浜の街の発展とかかわった、市電の歴史と役割を展示しました」と石井英明館長。藤棚在住の郷土史家・田村泰治さんは、「最初、久保山まで開通した当時、電停名が『横枕』だったのを地元が反対し、お茶屋さんにあった『藤棚』が名称になりました。相鉄がまだ西横浜終点だったので、ストの時は地元の青年団が代わりに運行したほど大事な交通機関でした。戦時中、男手がない時代、女性が乗務してハイカラな制服が大人気でしたが、手動ブレーキやポール転換など力仕事で苦労したそうです」と教えてくれました。



ハイカラな女性制服



市電が通った頃の霞橋

人々の触れ合いを乗せて親しまれた市電。モータリゼーションの時代、1972年にすべて姿を消したのは残念ですね。

浅間町探訪のお知らせ

「西区はここから始まった」

3月17日と24日に、西区郷土史研究会による浅間町の歴史講座およびまち歩きが行われます。旧東海道と横浜道が交差する芝生村の歴史を学び、旧東海道の史跡をめぐる。



浅間神社 (上)



洪福寺 (右)

3月17日	歴史講座	10時～12時
24日	まち歩き	〃
講師：西区郷土史研究会 田村泰治さん		
場所：浅間コミュニティーハウス会議室 (311-6085)		

西区 街の名人・達人まつり



去年のステージ

今年も「西区街の名人・達人まつり」が2月25日10時から藤棚地区センターで開催されます。

舞台での音楽・演技の他、作品の展示・販売、模擬店、体験講座、フリーマーケットと盛りだくさんの催しが予定されています。

～旅立ち～

市川幸男さん。本紙2016年2月20日号この町この人欄に、「たのしい工作」のタイトルで紹介されました。去年10月に亡くなりました。市川さんは糸車、鏡台や精巧な養蚕農家などいろいろなもののオモチャを竹や木で作って周囲に喜ばれました。ご冥福を祈ります。

藤棚俳壇・選者——三村風彦

緑釉の花器に満たすや寒の水
春一番紙幣飛び来る予感あり
手で折ってそれでも南天増え続け
大寒やのんびり煮豆音楽し
初雪に真昼間もついた門灯
花の毬四方にのぼす八ツ手かな
紅梅や庭の黒犬昼寝中

今吉正枝
小野元夫
荒川文子
矢島 巴
池田年子
吉田光子
雨宮則子

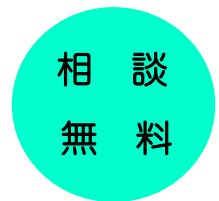
趣のある花器に、蠟梅を芯とした季節感の溢れた花を
活けたのだ。仕上げに「命の水」の「寒の水」を注いだ
のだ。

投句—当季雑詠で一人2句まで—、氏名、連絡先を記
載して。次回締切は三月二十日。
* 巻頭句には粗品を進呈。

Eメール：fujidananp@jcom.zaq.ne.jp
FAX：045-895-0081

地元で30年！親身な指導！

- 起業・会社設立
- 決算・申告・記帳代行
- 相続・贈与・事業承継



寺田会計事務所

公認会計士 寺田誠一
税理士 寺田悟史

西区中央2-13-2
伊勢新ビル2F
☎324-0510

検索 寺田会計事務所 横浜

【発行】藤棚新聞 〒247-0009 横浜市栄区 2-54-C 801

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@jcom.zaq.ne.jp